

Highleads



Highleads PickUp Mount System CubeMicLP's Assembly & Usage Instructions 組立式・外付け CubeMicLP 取扱説明書



②L字型ジョイント部

①固定部

③CubeMic 本体部

CubeMicLP をお買い上げ頂き、ありがとうございます。CubeMic LP は、左写真の様に①固定部と②L字型ジョイント部と③Cube Mic 本体部の3つ部品を組み合わせて、楽器の演奏振動を CubeMic 本体で共振させて收音する構造です。②の長い方には長い長〇穴があり、短い方には短い長〇穴が存在しており、このどちらに③を設置する事も出来る構造で逆側に①を設置させるという形になります。(下左写真参照) 打楽器のサイズは、千差万別です。胴の外からヘッドまでの距離が長いもの。マウント出来そうな締め金具や紐からヘッドまでの距離が長いものが様々です。故に、自分が CubeMic で收音したい楽器の形状、寸法によって、なるべく自由に設置できる構造として、組立式を

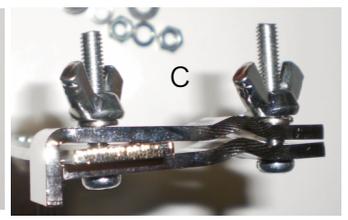
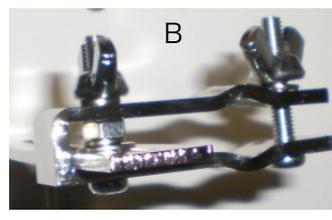
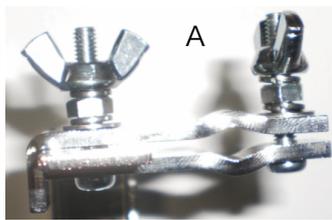
製造致しました。本体部先端にあるアーチ型の金属板(共振磁性体)を皮部分に圧力をかける位押し付けます。長〇穴の範囲内で、CubeMic は自由に設置出来る為、音を聴きながら気に入った場所を見つけてから固定して下さい。又、①の部品は締め金具(ボルト)が太すぎたりすると、②をナット締めて①に固定してから、①をその外側で蝶ナットで二重に締めて固定(下写真B参照)しないと、グラグラしてしまう場合(トラベルコンガ等)がある為、ナットと、バネワッシャも多めに付属しております。普通のタム程度程度の締めボルトには下写真Aの形で充分マウント出来る為、余分なナットやバネワッシャは、使わず保管しておきましょう。又、細い紐で締めているパーカッションの場合、Aでもグラグラしてしまう為、下写真Cの様に、固定部の部品をひっくり返して締め込みましょう。打楽器に固定できたら、mono フォーンジャックに、プラグを挿し込み、そのケーブルをPAやアンプにつないで下さい。EQ処理をしたり、コンプをかけたり、リバーブをかけたり、ディレイをかけたり、いろいろ試して、ハイリーズワールドをご堪能下さい。



CubeMicEX による取り付け例

なお、本商品は、全ての打楽器に取り付けられる事を保証している訳ではございません。買って取り付けを試みて、取り付けられなかったから返品するという考え方は、なるべくご遠慮下さいませ。多くの打楽器に取り付けられる商品です。逆に CubeMicLP が取り付けられる打楽器を探すという方向で、ご使用頂けますれば、幸いです。

本製品はパッシブタイプです。エフェクター(EQ)やダイレクトボックスを介してミキサーに送る事を推奨します。



Highleads

By 株式会社ハイリーズ

製品改善のため、予告無くデザイン・仕様を変更する場合がありますのでご了承下さい。